

河川事業（維持管理（護岸））

評価視点：位置付け

評価項目：安心で安全な暮らしの確保

評価指標：危険度判定（河岸の現状）

評 価 要 素		点数
河岸の現状	崩壊している。または、基礎部が浮いてる、亀裂・破損が著しく裏込材の吸い出しが見られる。	60
	基礎部が見えている。または、亀裂・破損が見られ、裏込材の吸い出しが懸念される。	50
	亀裂・破損が見られる。	40
	基礎部は見えない。または、安定している。	0

評価項目：安心で安全な暮らしの確保

評価指標：危険度判定（機能判定）

評 価 要 素		点数
河岸機能判定	施設として全く機能してなく、緊急な対応を要する	40
	施設が不安定な状態で、早急な対応を要する	30
	施設として機能しているが、改築することが望ましい	20
	改築、修繕の必要はない	0

評価視点：必要性・効果

評価項目：安全性

評価指標：構造上の課題（安全性）

評 価 要 素		点数
堤防構造上の安全性	堤防の法面勾配が5分以下	60
	堤防の法面勾配が5分より大きく1割以下	50
	堤防の法面勾配が1割より大きく2割以下	40
	堤防の法面勾配が2割より大きい	0

評価項目：安全性

評価指標：構造上の課題（既施設の材質）

評 価 要 素		点数
既施設の材質	木系、石系（空）、土堤	40
	カゴ系、石系（練）	30
	コンクリート系	20

評価視点：実施環境

評価項目：地元状況

評価指標：想定被害区域の状況（土地の利用状況）

評 価 要 素		点数
背後地の土地利用状況	人家連担区域である	60
	背後地に家屋等がある	50
	農地等がある	40
	山付である	0

評価項目：地元状況

評価指標：想定被害区域の状況（公共施設の数）

評 価 要 素		点数
公共施設への影響	1施設以上	20
	なし	0

\* 公共施設とは 公民館、病院、学校、幼稚園、福祉施設、国道、県道など  
土地利用及び公共施設への影響は、想定氾濫区域内とする

評価項目：地元状況

評価指標：地元関係者の協力・要望

評 価 要 素		点数
地元関係者の協力	地元の要望があり	20
	工事に対し協力的である	10
	工事に対し非協力的である	0

評価項目：環境等  
評価指標：自然環境保全 : 定性評価  
評価指標：生活環境対策 : 定性評価  
評価指標：コスト縮減策 : 定性評価